

金融経済教育 × 商店街 × デジタル技術

関連キーワード: ソーシャルファイナンス、地域通貨、金融経済教育

研究者プロフィール

・地域総合学部政策デザイン学科教授
伊鹿倉正司 (いがくら まさし)

- ・専門分野: 金融論
- ・研究分野: 地域金融、地域通貨、金融経済教育
- ・所属学会: 日本金融学会、証券経済学会など
- ・主な経歴



九州大学大学院経済学研究科博士後期課程修了
(博士(経済学))、九州大学経済学部助手、本学経済学部講師、
准教授、教授を経て、2023年4月より現職

研究内容

現在取り組んでいる主な研究は以下の3つです。

1. 地域金融機関のコーポレートガバナンスとリスクテイキング行動の因果性

地域金融機関の企業統治の特性が、貸出や有価証券投資などのリスクテイキング行動に及ぼす影響を明らかにしています。

2. 商店街をフィールドとした金融経済教育の実践

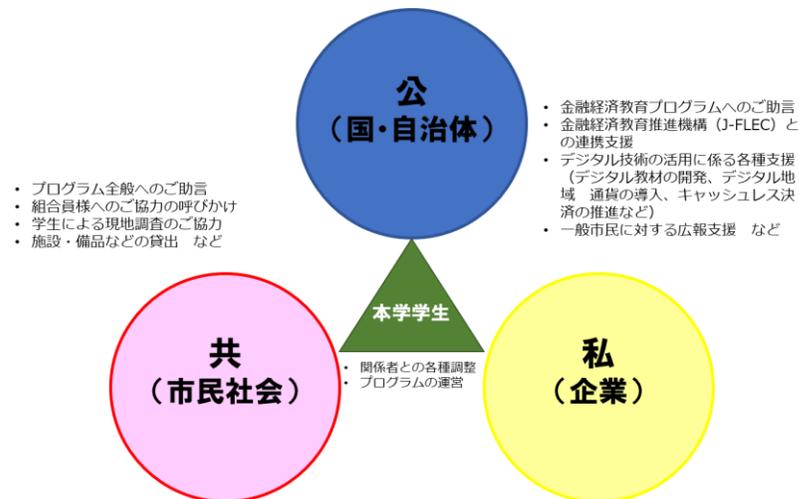
詳細は「地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他」をご覧ください。

3. ソーシャルファイナンスとインパクト測定

主にわが国金融機関のソーシャルファイナンスの取り組みやインパクト(社会的利益)の測定方法に関する研究を行っています。

また近年、京都信用金庫などが取り組んでいる「ソーシャル企業認証制度」にも注目しており、東北地域での同制度の導入を検討しています。

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他



コンセプト: 金融経済教育 × 宮町商店街 × デジタル技術

対象: 一般市民 (特に小学校高学年と中学生、その保護者)

期待される効果: 商店街の更なる認知度の向上、関係人口の創出など

主なプログラム内容:

- タイムスリップ商店街
- 親子お金教室 in 商店街
- デジタルキッズニア in 宮町商店街
- 金融経済カフェ

研究者への連絡先

産学連携推進センター Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
電話 022-354-8122